浪江町

第２回浪江町景観づくり住民ワークショップ

令和6年10月27日

A) 景観計画策定の目的

B) WS①意見

C) 景観まちづくりとは？

JR浪江駅周辺などまちの中心部の再開発が進む今、次代の浪江町民が誇れる街並みや眺望となるよう浪江町は景観計画の策定を進めています

景観計画を策定する背景と目的

まちの中心部の動き	✓ JR浪江駅周辺では交流・商業・住宅施設などの整備について、浪江駅周辺整備事業に基づき、事業を進めている。 ✓ 福島国際研究教育機構（F-REI）の立地が決定した。 ✓ 「ゼロ・カーボンシティ」や「なみえ水素タウン構想」を掲げ、持続可能なまちづくり実現のためエネルギー地産地消の取組を進めている。

懸念点	これらの先導的な事業に誘発された急速な建築・開発圧力が高まることが推測され、 現状を無為に委ねた場合、 **無秩序な開発整備や景観の阻害が急速に進行するのではないか？**

景観計画を策定する目的	**地域の特色を活かした良好な景観の保全や創造を図り、 次代の浪江町民が誇りとできる景観の町をつくる**

A) 景観とは？

B) WS①意見

C) 景観まちづくりとは？

6/2(日)に開催したWSでは各グループで大切な景観や好きな景観についてブレストを行った考えたあと、地区を選び、キャッチフレーズ、大切な景観要素、守りたい/つくっていきたい景観を発表いただきました。

各グループから出た意見と全体への発表内容

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
キャッチフレーズ	統一しすぎない、 今あるもの・記憶を残す	町民の生活感や息づかいを 感じる、活気があり、 歩きたくなる新町通り	道が暮らしをつくる
対象の地区	浪江町（全体）	新町通り	火伏道（裸参り）
大切な景観要素	日山、高瀬川、 今あるものを残す	人が歩く風景、 子供達が寄り道できる場所、 歴史（水路→ 宿場町→商店街）	隣のお家への道（おすそわけ）、 行き止まりの道、つながる道、 空とつながる道、 狭い道が譲り合いを生む、 橋が多い
守りたい景観・ つくっていきたい景観	浪江駅、学校、記録、 記憶、思い出、 空（青）、新緑	人が歩きやすい、 商人魂をくすぐる、 地域の人がボトムアップで つくる、歴史を活かす、 キレイな駅の東西、 人情感ある南北	新町通り、 火除地（防災空地）を守る、 裸参りのルート

大切な景観好きな景観（主なもの）

請戸川のリバーラインの桜（きれい）、**新町通り**（人の活気）、**権現堂城址**（子供の遊び場/裸参りのコース）、**サンプラザ**（子供ワクワク）、**浪江駅**（浪江に降りたら波の屋根）、**道路**（せまい道も大切）、**カーニバルステーション**（交流の場）、**裸参り**（再開したい）、**丈六公園**（眺望が良い）、**川添**（鳥のさえずり）、**道の駅なみえ**（今の浪江の象徴）、**高瀬川**（四季で景観が変わる/釣り）、**請戸海岸/漁港**（伝統/震災）、**大平山**（友達を連れていく）、**日山**（他の市町村とまたがり交流がある）、**田んぼ**（空(青)と田んぼ(緑)のコントラスト）

第2回ワークショップ 全体の流れ

WS②の流れ

目指したい町並みを考える

11:00~12:00 ワーク①まち歩きをして浪江町の今と未来を考えよう！

- まち歩きをしながら気が付いたことを探す
- 浪江駅前整備事業の紹介を受け、将来の浪江町のことを考える

13:30~14:00 ワーク②「浪江町の新たな気付きを発見しよう！●●を新たに発見した！」

- まち歩きを振り返り、気が付いたところを地図や写真に付箋を貼る

※午後の部から参加の方はGoogleストリートビューを使い、ファシリテーターがまち歩きルートを説明します

ルール・取り組みを知り、できることを考える

14:20~15:00 ワーク③「●●地区にルールを作ってよくしたい！自分なら●●ができる！」

- 景観まちづくりで町民が決められる建物のルール・取り組みが書いてあるカードをみながら、「浪江町のここをこのカードでもっと良くしたい」「自分ならまちづくりのためにこうできる」と思うことを話し合う

●●の場所は緑にあふれていてこれからも残していきたい
このカードを使えば緑あふれる場所を維持できる！
自分でもぜひ取り組んでいきたい！

ワーク②　３０分
「浪江町の新たな気付きを発見しよう！　●●を新たに発見した！」

1.　浪江町の地図と写真を見ながらまち歩きを振り返り、気が付いたところを思い出して地図や写真にポストイットを貼る。

【１０分・個人ワーク】

- ✓ 午後から参加された方：ファシリテーターとともにGoogleストリートビューを使って午前の部でまち歩きをしたルートを辿る。気が付いたところをポストイットに書き出す。
- ✓ 午前から参加された方：テーブルの上の地図と写真から、まち歩きで気が付いたところを思い出すその場所の気づきを個人でポストイットに書き出す。

例：●●の場所がきれいに整備されていた、●●はもっと良くしていきたい など
（１つの要素を１つのポストイットに）

2.　グループごとに、各自の気づきについて話し合い、写真と地図にポストイットを貼る。

【一人３分・グループワーク】２０分程度

- ✓ それぞれの人のまち歩きでの気づきについて、感じたこと、共通した気づきなどを話し合う。（３分／人）
- ✓ ファシリテーターは自己紹介のみ。（１分／人）

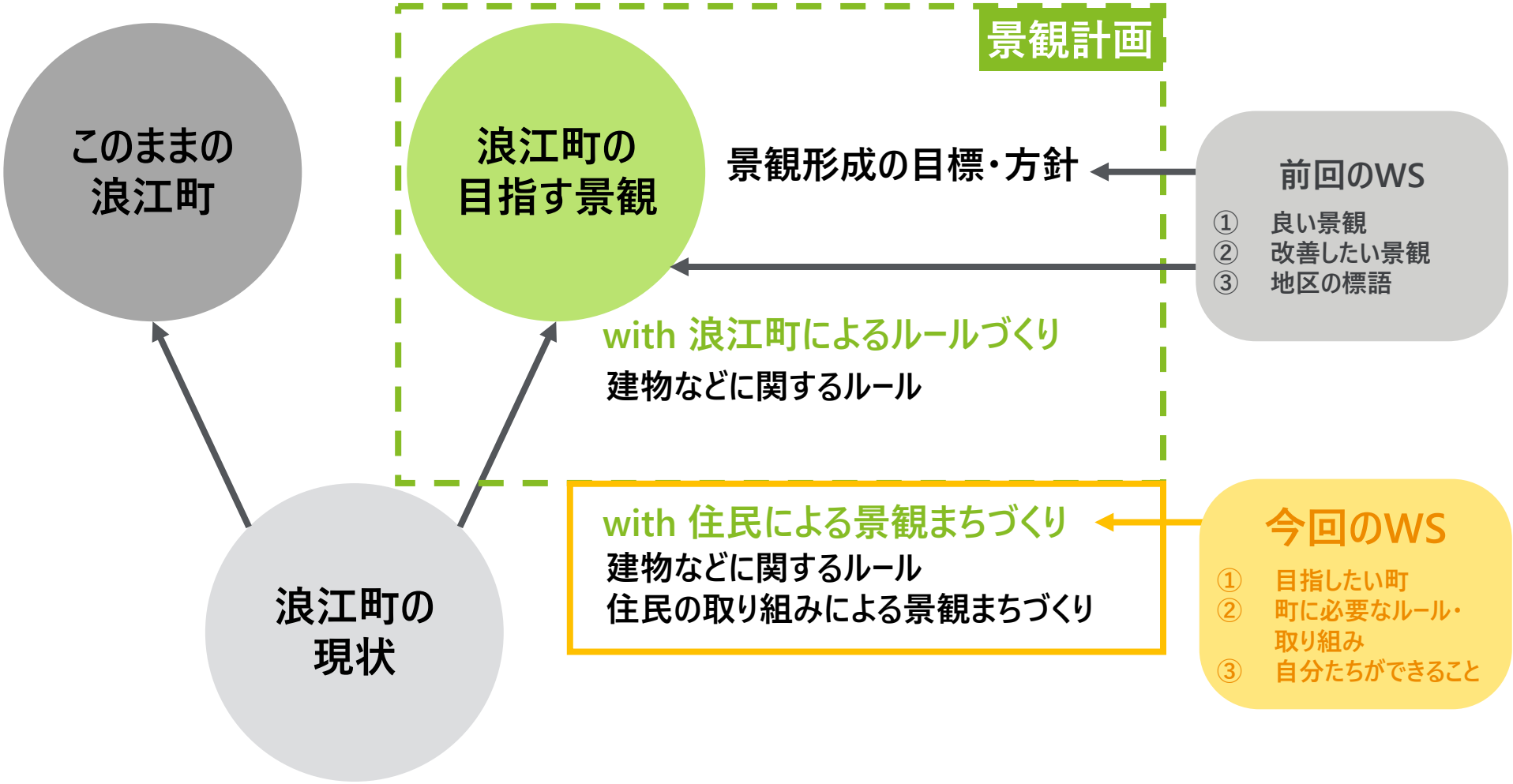
A) 景観とは？

B) WS①意見

C) 景観まちづくりとは？

今回のWSでは、建物等に関するルールや日常的な取組等の景観まちづくりについて考えていきます。

景観計画の概要と今回のWSの結果の反映



無秩序な開発を抑制するために景観計画を策定し、これをキッカケとして住民等が主体となった景観まちづくりが進んでいき、魅力ある浪江町の景観が形成されることを目指します。今回のWSでは、2ステップ目の「住民主体の景観まちづくり」について考えていきます

景観まちづくりのロードマップ（案）

今後の浪江町の景観形成に向けたルールをまとめた景観計画を策定

- 駅周辺やF-REI工事の本格化に伴い、無秩序な建築により景観が損なわれることを防ぐルールをまとめる
- 浪江町として独自のルールを検討していくこと、景観に関するコミュニケーションを住民等と行うため、景観行政を開始する

住民等を主体とした景観まちづくりが活性化

- 駅前整備やF-REI工事が進んでいく中で、住民や事業者などが中心となり、まちの景観に関する議論や取組みが進んでいく

魅力ある新たな景観が形成

- 景観計画で目指した魅力的な景観が形成されていく

景観を考えるうえで大切なのは「そこに住んでいる町民の方がどのような町を目指しているか？」ということです。そこで、町民の方にも参加・主導していただいての景観まちづくりを実施していくことを目指します

景観づくりにおける各主体の役割

町民

- 身の回りの景観への意識
- 景観づくりの取り組みへの参加
- まちなかの美観の維持
- 建物や敷地の景観の維持　など

協働による景観づくり

事業者

- 地域の景観特性の理解
- 地域の景観形成への配慮
- 町の景観づくり施策に協力
- 緑化などによる景観づくり　等

行政

- 景観まちづくりの普及啓発
- 景観に係る施策・体制等の構築
- 景観形成の支援
- 公共施設整備での景観づくり　等

建物等ハード面に関する景観では、行政だけでなく、目指したい景観を考えて町民の皆さんでルールを作ることもできます。

町民による建物に関するルールの効果

目指したい町並みを考える

- 近隣住民との対話
- 町内会での話し合い
- 日頃から困りごとを近隣住民と共有

ルールを考える

ルール例）道に並ぶ建物の高さをそろえる

建物の高さをそろえる

隣の建物と、庇の高さを揃えます

ルール例）派手な色を抑え、落ち着いた色合いに統一する

建物の色をそろえる

地区全体で建物を落ち着いた色にそろえます

建物を建てる

- ルールに沿った建物

出所：京都の新築住宅・リノベーション京都市の景観条例｜内容、デザイン（色彩、高さなど）、該当地域などわかりやすく解説｜京都（左京区・北区）の注文住宅なら高性能住宅の三都の森 (dfar.jp)
All about旅行大人がゆったり過ごせる穴場スポット！ 観光列車「伊予灘ものがたり」で行く愛媛・大洲 [癒しの旅] All Abou

建物に関するルール以外にも、日頃からできる取り組みでも、より良い景観を守り、つくっていくことができます。

町民による景観を守る取り組みの効果

目指したい町並みを考える

- 近隣住民との対話
- 町内会での話し合い
- 日頃から困りごとを近隣住民と共有

→どんな町並みにしていきたいかを住民の中で具体化

取り組みを考える

取組例） 自宅の前に植物を植える

自宅の前に植物を植える

自宅の前に植物を植えて、町中にも緑を増やします

出典：国土交通省他法令との関係

取り組みを実施する

- 町の景観を良くしていきたい近隣の方とともに実施
- 小規模でも継続的な実施

→良好な景観まちづくりの実現、町内コミュニケーションの活性化

出所：国土交通省他法令との関係　https://www.mlit.go.jp/common/001228614.pdf

具体的には、目指したい町並みを考え、その実現のための、建物に関するルールと、日常的な景観の取り組みを知り、どんなことができるか考えるwsを行っていきます。

WS②の流れ

目指したい町並みを考える

ワーク①まち歩きをして浪江町の今と未来を考えよう！

- まち歩きをしながら気が付いたことを探す
- 浪江駅前整備事業の紹介を受け、将来の浪江町のことを考える

ワーク②「浪江町の新たな気付きを発見しよう！●●を新たに発見した」

- 写真と地図を見ながらまち歩きを振り返り、気が付いたところを地図や写真に付箋を貼る

ルール・取り組みを知り、できることを考える

建物の屋根の色をそろえる

地区全体で建物の壁を落ち着いた色にそろえます

出典：国土交通省景観ポータル

近所とおそろいの飾りつけを行う

近隣住民と相談しながら自宅前の装飾を行います

出典：国土交通省他法令との関係

自宅の塀やフェンスを生垣とする

塀を生垣や植物等自然素材とし心地よい町にします

出典：新宿区景観形成ガイドライン

ワーク③「●●地区にルールを作って良くしたい！自分なら●●ができる！」

- 景観まちづくりで町民が決められる建物のルール・取り組みが書いてあるカードをみながら、「浪江町のここをこのカードでもっと良くしたい」「自分ならまちづくりのためにこうできる」と思うことを話し合う

●●の場所は緑にあふれていてこれからも残していきたい
このカードを使えば緑あふれる場所を維持できる！
自分でもぜひ取り組んでいきたい！

出所：公益財団法人日本交通文化協会パブリックアートの普及・振興 | パブリックアート事業 | 公益財団法人 日本交通文化協会 (jptca.org)
)All about旅行大人がゆったり過ごせる穴場スポット！ 観光列車「伊予灘ものがたり」で行く愛媛・大洲 [癒しの旅] All Abou
千葉県柏市　https://www.mlit.go.jp/common/001216492.pdf

ワーク③前資料

第2回ワークショップ 全体の流れ

WS②の流れ

目指したい町並みを考える

11:00~12:00 ワーク①まち歩きをして浪江町の今と未来を考えよう！

- まち歩きをしながら気が付いたことを探す
- 浪江駅前整備事業の紹介を受け、将来の浪江町のことを考える

13:30~14:00 ワーク②「浪江町の新たな気付きを発見しよう！●●を新たに発見した！」

- まち歩きを振り返り、気が付いたところを地図や写真に付箋を貼る

※午後の部から参加の方はGoogleストリートビューを使い、ファシリテーターがまち歩きルートを説明します

ルール・取り組みを知り、できることを考える

14:20~15:00 ワーク③「●●地区にルールを作ってよくしたい！自分なら●●ができる！」

- 景観まちづくりで町民が決められる建物のルール・取り組みが書いてあるカードをみながら、「浪江町のここをこのカードでもっと良くしたい」「自分ならまちづくりのためにこうできる」と思うことを話し合う

●●の場所は緑にあふれていてこれからも残していきたい
このカードを使えば緑あふれる場所を維持できる！
自分でもぜひ取り組んでいきたい！

ワーク③　４０分
「●●地区をルールでよくしたい！」「自分なら●●ができる！」

1. **「建物に関するルール」が書いてあるカードを見て、ワーク①での気づきを振り返る。カードを使って守りたい場所、良くしたい場所を話し合い、ワークシートにカードと地図上のポストイットを貼る。**
   【１５分・グループワーク】
   - ✓ カードを見て、景観のルールとして何ができるのかを知る
   - ✓ このカードを使って●●の場所を良くしたい、守りたいなど話し合う

2. **「景観を守る取り組み」が書いてあるカードを見て、自分たちができそうなこと・やってみたいことをカードから探す。そのカードで自分たちが守りたい場所、良くしたい場所を話し合い、ワークシートにカードと地図上のポストイットを貼る【１５分・グループワーク】**
   - ✓ カードを見て、景観まちづくりで町民ひとりひとりが取り組みの選択肢を知り、できそう・やってみたいカードを探す
   - ✓ このカードを使って●●の場所を良くしたい、守りたいなど話し合う

3. **各テーブルを回り、グループのワークシートを見て意見をポストイットに書いてワークシートに貼る【１０分】**
   - ✓ 「いいね！」などでもOKです！

発表用ワークシート（例）

ワーク②
●●は生垣がきれいに
整備されていた
●●の場所はこれからも残して
いきたい
浪江町
ワーク②で貼ったポストイットに
対応してルールカードを検討
ワークシート
まちの良いところを
さらに良くしたい
＊＊＊
建物の屋根の
色をそろえる
地区全体で建物の壁を落ち着いた色にそろえます
出典：国土交通省景観ポータル
自宅の塀やフェンスを生垣とする
塀を生垣や植物等自然素材とし心地よい町にします
出典：新宿区景観形成ガイドライン
＊＊＊
誰かと一緒なら
行動できること
自分1人で行動
できること
近所とおそろいの
飾りつけを行う
近隣住民と相談しながら自宅前の装飾を行います
出典：国土交通省他法令との関係
ポストイットに対して
使いたいルールカードを貼る
まちの課題を
解決したい